3．プログラム

シンポジウム１　13：00 ～ 14：10

実臨床におけるニーズ・新たな研究の種

司会：山田哲司　東京医科大学　消化器・小児外科学分野
島田英昭　東邦大学大学院　消化器外科講座・臨床腫瘍学講座

S1-1 **胃癌の免疫療法における biomarker 確立の必要性**
掛地吉弘
神戸大学大学院医学研究科外科学講座食道胃腸外科学分野

S1-2 **大腸癌診療における現状と問題点**
小林宏寿
帝京大学医学部附属溝口病院外科

S1-3 **乳がん患者さんのための、基礎研究で明らかにしたい実臨床の課題**
〇増田隆明、渋田祥平、安東由貴、久松雄一、三森功士
九州大学病院別府病院　外科

S1-4 **膵癌治療の進歩と今後の展開**
海野倫明
東北大学大学院消化器外科学

S1-5 **肝癌に対する外科治療における最近の変化**
池上徹
東京慈恵会医科大学外科学講座肝胆膵外科

シンポジウム２　10：15 ～ 11：25

基礎研究者からのプロポーズ

司会：落谷孝広　東京医科大学医学総合研究所　分子細胞治療研究部門
加藤直也　千葉大学大学院医学研究院 消化器内科学

S2-1 **リキッドバイオプシーに向けた細胞外小胞の新規解析方法**
安井隆雄
名古屋大学

S2-2 **エクソソーム・リキッドバイオプシーによる新規がん診断法の開発**
〇吉岡祐亮、落谷孝広
東京医科大学　医学総合研究所 分子細胞治療研究部門

S2-3 **血中分子の新たな可能性：beyond ctDNA**
〇坂井和子、西尾和人
近畿大学医学部ゲノム生物学講座

S2-4 **血中循環腫瘍細胞のトランスクリプトーム解析に基づいた新規マーカー探索**

吉野知子

東京農工大学大学院 工学研究院 生命機能科学部門

S2-5 **循環変異タンパク質を用いた革新的がんリキッドバイオプシー技術開発**

植田幸嗣

公益財団法人がん研究会

シンポジウム3　16：00 ～ 17：10

臨床と研究 融合の成功例

司会：横崎宏　神戸大学大学院医学研究科　病理学講座病理学分野
近藤豊　名古屋大学 大学院医学系研究科　腫瘍生物学

S3-1 **リキッドバイオプシーで変わるがん治療**

中村能章

国立がん研究センター東病院

S3-2 **リアルワールド・エビデンスを加速化する「バイオマーカー迅速検証プラットフォーム」**

本田一文

日本医科大学大学院医学研究科生体機能制御学分野

S3-3 **癌微小環境による肝癌癌進展機序に着目した新規肝発癌バイオマーカー**

〇疋田隼人、竹原徹郎

大阪大学大学院医学系研究科　消化器内科学

S3-4 **体細胞変異に基づく新規高感度腫瘍マーカーの社会実装**

〇西塚哲[1)]、開勇人[1)]、阿保亜紀子[1)]、岩谷岳[2)]

1）岩手医科大学医歯薬総合研究所医療開発研究部門
2）岩手医科大学医学部臨床腫瘍学

S3-5 **メチル化パネルアッセイによる血中腫瘍 DNA 検出系の開発**

〇永江玄太[1)]、後藤健吾[2)]

1）東京大学先端科学技術研究センター
2）富士フィルム株式会社

2021 年度今井浩三賞受賞記念講演　11：25 ～ 12：00

司会：島田英昭　東邦大学大森病院　一般・消化器外科学講座

双方向性橋渡し研究によるオリジナル医療の実現を目指して

本田 一文

日本医科大学大学院医学研究科生体機能制御学分野

今井浩三賞受賞式・奨励賞表彰式・閉会式　17：55 ～ 18：15

一般演題１　（★は奨励賞評価対象演題です）　7：45 ～ 8：50

微小環境・腫瘍免疫応答

司会：山下継史　北里大学医学部新世紀医療開発センター　先進外科腫瘍学
三吉範克　大阪大学大学院医学系研究科　消化器外科

01-1★ 免疫グロブリン結合タンパク質の高深度プロテオーム解析と、新規がんバイオマーカー探索研究への応用

○阿部 雄一[1)]、磯村 久徳[1)]、田口 歩[1,2)]
1）愛知県がんセンター　分子診断トランスレーショナルリサーチ分野
2）名古屋大学大学院医学系研究科　先端がん診断学分野

01-2★ 結腸直腸癌における pks 陽性 Escherichia coli 発現の意義

○宮坂 俊光、山田 岳史、園田 寛道、進士 誠一、松田 明久、代永 和秀、岩井 拓磨、武田 幸樹、上田 康二、栗山 翔、香中 伸太郎、吉田 寛
日本医科大学付属病院　消化器外科

01-3★ *in vitro* 培養モデルにおける肺がん関連線維芽細胞の形質可変性

○内藤 寛[1,2)]、Robert E Hynds[3,4)]、David Novo[1,2)]、Probir Chakravarty[5)]、Gavin Kelly[5)]、Charles Swanton[3,4)]、本田 一文[1,6)]、and Erik Sahai[2)]
1）日本医科大学先端医学研究所生体機能制御学部門
2）Tumour Cell Biology Laboratory, The Francis Crick Institute, London, U.K.
3）Cancer Research UK Lung Cancer Centre of Excellence, University College London Cancer Institute, University College London, London, U.K.
4）Cancer Evolution and Genome Instability Laboratory, The Francis Crick Institute, London, U.K.
5）Bioinformatics, The Francis Crick Institute, London, U.K.
6）日本医科大学大学院医学研究科生体機能制御学分野

01-4★ 尿路上皮癌における血中循環細胞外小胞内 Firmicutes 門の遺伝情報は癌局所内免疫状態を反映し癌免疫療法の治療効果を予測できる

○山本 顕生[1)]、河嶋 厚成[1)]、神宮司 健太郎[2)]、西塔 拓郎[3,4)]、元岡 大祐[5]、植村 俊彦[1)]、山道 岳[1)]、冨山栄輔[1)]、石津谷 祐[1)]、山本 致之[1)]、加藤 大悟[1)]、波多野 浩士[1)]、辻川 和丈[2)]、和田 尚[4)]、野々村 祝夫[1)]
1）大阪大学大学院医学系研究科　器官制御外科学講座　泌尿器科学、2）大阪大学大学院薬学研究科　細胞生理学分野、
3）大阪大学大学院医学系研究科　外科系臨床医学専攻　外科学講座　消化器外科学、
4）大阪大学大学院医学系研究科　臨床腫瘍免疫学、5）大阪大学　微生物病研究所

01-5★ 結腸癌組織における INHBA 遺伝子高発現の臨床学的特徴

○奥野 晃太、渡部 晃子、黒田 悠、大木 慶子、贄 祐亮、木立 光祈子、藤野 史織、三階 貴史、隈元 雄介、内藤 剛、比企 直樹、山下 継史
北里大学医学部　外科学

01-6★ 粘膜下浸潤大腸癌における腫瘍浸潤リンパ球とリンパ節転移診断についての検討

〇林 理絵、三吉 範克、北風 雅敏、藤野 志季、関戸 悠紀、波多 豪、浜部 敦史、荻野 崇之、高橋 秀和、植村 守、土岐 祐一郎、江口 英利
大阪大学大学院　医学系研究科消化器外科

01-7★ マクロファージとの相互作用で誘導されるYKL-40/osteopontin-integrin β 4-p70S6K経路は食道扁平上皮初期発癌に関与する

○浦上 聡[1,2]、塚本 修一[1]、安積 佑樹[1,3]、都 鍾智[1,3]、北村 優[1,3]、児玉 貴之[1]、西尾 真理[1]、重岡 學[1]、狛 雄一朗[1]、横崎 宏[1]

1）神戸大学大学院医学研究科　病理学講座病理学分野
2）神戸大学大学院医学研究科　内科学講座消化器内科学分野
3）神戸大学大学院医学研究科　外科学講座食道胃腸外科学分野

01-8★ 癌間質におけるSPARC遺伝子発現亢進はCAFにおける癌進展環境ニッチを反映する

○贄 裕亮、藤山　芳樹、奥野 晃太、黒田 悠、大木 慶子、渡部 晃子、木立 光祈子、藤野 史織、比企 直樹、内藤 剛、隈元 雄介、三階 貴史、山下 継史

北里大学医学部　外科学

一般演題２　8：50～9：30
ゲノム・ctDNA

司会：八代正和　大阪市立大学医学研究科　癌分子病態制御学
山田岳史　日本医科大学　消化器外科

02-1★ 遺伝子マーカーからみた当院におけるがん遺伝子パネルの臨床的有用性の検討

〇青山 里佳[1]、佐久間 崇[1,2]、丸尾 晃司[1,2]、山本 百合恵[2]、瀬良 知央[1,2]、辻尾 元[1,2]、八代 正和[1,2,3]

1）大阪公立大学大学院　癌分子病態制御学、2）大阪公立大学大学院　消化器外科学
3）大阪公立大学大学院　ゲノム診療科

02-2 Droplet digital PCRを用いた結腸直腸癌におけるHER ２遺伝子増幅の診断

○香中 伸太郎、山田 岳史、園田 寛道、進士 誠一、松田 明久、代永 和秀、岩井 拓磨、武田 幸樹、上田 康二、栗山 翔、宮坂 俊光、吉田 寛

日本医科大学付属病院　消化器外科

02-3 胆膵悪性腫瘍における胆汁を用いたリキッドバイオプシー；血液との比較

○大山 広[1,2,3]、弘津 陽介[2]、雨宮 健司[2]、三浦 義史[1]、菅 元泰[1]、小山 敏雄[4]、飯室 勇二[5]、小嶋 裕一郎[3]、三方 林太郎[1]、千葉 哲博[1]、望月 仁[2,3]、加藤 直也[1]、小俣 政男[2,3,6]

1）千葉大学医学部附属病院　消化器内科、2）山梨県立中央病院　ゲノム解析センター、
3）山梨県立中央病院　消化器内科、4）山梨県立中央病院　病理診断科、5）山梨県立中央病院　外科、6）東京大学

02-4★ 切除可能膵癌における血中循環腫瘍DNA内Kras遺伝子変異とCA19-9値による予後層別化の試み

〇宮本 耕吉、吉田 龍一、重安 邦俊、安井 和也、高木 弘誠、藤 智和、楳田 祐三、八木 孝仁、藤原 俊義

岡山大学大学院　医歯薬総合研究科　消化器外科学

02-5★ 肺線維症合併肺癌における CADM1 と SPC25 遺伝子変異

○福泉 彩[1)]、野呂 林太郎[1)]、宮永 晃彦[1)]、峯岸 裕司[1)]、大森 美和子[1)]、
平尾 真李子[1)]、松田 久仁子[1)]、功刀 しのぶ[2)]、西脇 一尊[3)]、森本 誠弘[3)]、
本橋 春香[3)]、大和田 勇人[3)]、臼田 実男[4)]、弦間 昭彦[1)]、清家 正博[1)]
1）日本医科大学大学院　医学研究科呼吸器内科学分野、2）日本医科大学大学院　医学研究科解析人体病理学分野
3）東京理科大学　理工学部　経営工学科、4）日本医科大学大学院　医学研究科呼吸器外科学分野

一般演題３　9：30 ～ 10：10
エピゲノム

司会：新井田厚司　東京大学医科学研究所　ヒトゲノム解析センターゲノム医科学分野
鈴木　拓　札幌医科大学　医学部分子生物学講座

03-1★ バイオマーカーとなり得る解糖系関連遺伝子の探索

○斉藤 秀幸[1,2)]、細田 清孝[2)]、大楽 勝司[2)]、中野 祐輔[2)]、橋本 雅弘[2)]、
平木 嘉樹[2)]、阿部 正[2)]、安東 由貴[2)]、本村 有史[2)]、久松 雄一[2)]、戸島 剛男[2)]、
米村 祐輔[2)]、増田 隆明[2)]、佐伯 浩司[1)]、三森 功士[2)]
1）群馬大学大学院　総合外科学講座　消化管外科学分野、2）九州大学病院　別府病院　外科

03-2 活性化マクロファージは IL-1 β -SAA1 axis を介して早期大腸がんの浸潤を促進する

○吉戸 文乃[1)]、須藤 豪太[1,2]、山本 英一郎[1)]、高澤 啓[3)]、青木 敬則[1)]、新沼 猛[1)]、
北嶋 洋志[1)]、甲斐 正広[1)]、小山内 誠[3)]、仲瀬 裕志[2)]、鈴木 拓[1)]
1）札幌医科大学医学部　分子生物学講座、2）消化器内科学講座　3）病理学第二講座

03-3★ 胃癌における尿中遊離 microRNA を用いた新たな非侵襲診断法の検討

〇高嶋 祐助、小松 周平、大橋 拓馬、木内 純、西別府 敬士、神谷 肇、荒川 宏、
石田 怜、清水 浩紀、有田 智洋、小西 博貴、塩崎 敦、窪田 健、藤原 斉、大辻 英吾
京都府立医科大学　医学部消化器外科

03-4★ 大腸癌転移と NNMT 遺伝子発現の関連

〇渡部 晃子、贄 裕亮、奥野 晃太、黒田 悠、大木 慶子、木立 光祈子、
藤野 史織、三階 貴史、比企 直樹、隈元 雄介、内藤 剛、山下 継史
北里大学医学部　外科学

03-5 胃癌サルコペニア症例における血中癌抑制型 microRNA を介した腫瘍進展メカニズム

○木内 純、小松 周平、窪田 健、大辻 英吾
京都府立医科大学　消化器外科

一般演題４　14：15 ～ 15：05
蛋白・代謝産物

司会：三善英知　大阪大学大学院医学系研究科　生体病態情報科学
源　利成　金沢大学がん進展制御研究所

04-1★ クラスター分析による胃癌リンパ節転移および予後に関与する蛋白および遺伝子の解析

〇辻尾 元[1,2,3]、丸尾 晃司[1,2,3]、山本 百合恵[2,3]、瀬良 知央[1,2,3]、杉本 敦史[1,2,3]、笠島 裕明[1,2,3]、三木 友一朗[1)]、吉井 真美[1)]、田村 達郎[1)]、豊川 貴弘[1)]、田中 浩明[1)]、六車 一哉[1)]、大平 雅一[1)]、八代 正和[1,2,3]
1）大阪公立大学大学院　消化器外科学、2）大阪公立大学大学院　癌分子病態制御学、
3）大阪公立大学大学院　難治癌 TR センター

04-2★ StageIV 胃癌における内視鏡生検検体を用いた経時的リン酸化プロテオーム解析による新規治療標的の探索

〇平野 秀和[1)]、阿部 雄一[2)]、野島 陽水[3)]、青木 雅彦[4)]、庄司 広和[1)]、磯山 純子[5)]、本田 一文[6)]、朴 成和[7)]、水口 賢治[3)]、朝長 毅[5)]、足立 淳[5)]
1）国立がん研究センター中央病院、2）愛知がんセンター研究所、3）大阪大学、4）京都大学医学部附属病院、
5）医薬基盤・健康・栄養研究所、6）日本医科大学、7）東京大学医科学研究所附属病院

04-3★ 高精度質量分析を用いた胆汁プロテオーム解析の胆道癌の新規バイオマーカー探索における有用性の検討

〇菅 元泰[1)]、千葉 哲博[1)]、紺野 亮[2)]、中川 良[1)]、大山 広[1)]、大野 泉[1)]、日下部 裕子[1)]、高橋 幸治[1)]、永嶌 裕樹[1)]、三浦 義史[1)]、大内 麻愉[1)]、川島 祐介[2)]、小原 収[2)]、加藤 直也[1)]
1）千葉大学医学部附属病院　消化器内科、2）かずさ DNA 研究所

04-4★ EGFR感受性遺伝子変異を有する進行非小細胞肺がんにおける予後予測キナーゼの同定：三次元ペプチドアレイによる網羅的キナーゼ活性解析を用いて

〇野口 玲、近藤 格
国立がん研究センター研究所　希少がん研究分野

04-5★ リン酸化プロテオームデータと薬剤感受性データの統合解析による薬剤耐性大腸がん肝転移巣の新規治療標的探索

〇軍司 大悟[1,2)]、阿部 雄一[3)]、長山 聡[2,4)]、坂井 義治[5)]、小濵 和貴[2)]、朝長 毅[1)]、足立 淳[1)]
1）医薬基盤・健康・栄養研究所 創薬デザイン研究センター　創薬標的プロテオミクスプロジェクト、
2）京都大学 大学院 医学研究科 消化管外科、
3）愛知県がんセンター研究所 分子診断トランスレーショナルリサーチ分野、4）宇治徳洲会病院 消化器外科、
5）大阪赤十字病院　消化器外科

04-6★ 前立腺癌における GDF15 プロペプチドの骨転移診断マーカーとしての有用性

○山道 岳[1)]、加藤 大悟[1)]、明庭 昇平[2)]、岡 利樹[1)]、奥田 洋平[1)]、植村 俊彦[1)]、山本 顕生[1)]、冨山 栄輔[1)]、石津谷 祐[1)]、山本 致之[1)]、波多野 浩士[1)]、河嶋 厚成[1)]、植村 元秀[1,3,4)]、野々村 祝夫[1)]
1）大阪大学大学院医学系研究科器官制御外科学講座　泌尿器科学、2）東ソー　バイオサイエンス事業部、3）公立岩瀬病院　泌尿器科、4）福島県立医大　泌尿器科

一般演題 5　15：05 ～ 15：55
難治癌への新たなアプローチ

司会：大上直秀　広島大学大学院医系科学研究科　分子病理学
石井秀始　大阪大学　医学系研究科

05-1★ 胃癌における MCM4 の臨床病理学的重要性

○勝矢 脩嵩、石川 洸、城戸 綾、福井 嵩史、仙谷 和弘、大上 直秀
広島大学大学院　医系科学研究科　分子病理

05-2★ 次世代シークエンサーを用いた RNA-seq からみるスキルス胃癌ドライバー遺伝子

○瀬良 知央、青山 里佳、佐久間 崇、丸尾 晃司、辻尾 元、山本 百合恵、杉本 敦史、櫛山 周平、栂野 真吾、黒田 顕慈、笠島 裕明、八代 正和
大阪公立大学大学院医学研究科　癌分子病態制御学

05-3 ラットの肝化学発がんは遺伝子変化によらない

○佐藤 公彦
秋田看護福祉大学

05-4 食道扁平上皮癌における OPLAH タンパク発現意義

○清水 大[1)]、神田 光郎[1)]、佐藤 雄亮[2)]、本山 悟[2)]、小寺 泰弘[1)]、
1）名古屋大学大学院医学系研究科消化器外科学、2）秋田大学附属病院　食道外科

05-5★ 膵癌におけるグルタミナーゼ 1 を標的とした治療誘導性老化癌細胞除去による治療効果の向上

○小山 啓介、岩上 佳史、小林 省吾、佐々木 一樹、山田 大作、富丸 慶人、野田 剛広、高橋 秀典、土岐 祐一郎、江口 英利
大阪大学大学院医学系研究科　外科学講座消化器外科学

05-6★ 人工知能を用いた早期大腸癌のリンパ節転移リスクの予測モデルの検討

○笠原 健大[1)]、斎藤 彰[2)]、有働 竜太郎[1)]、田子 友哉[1)]、真崎 純一[1)]、桒原 寛[1)]、榎本 正統[1)]、石崎 哲央[1)]、勝又 健次[1)]、黒田 雅彦[2)]、永川 裕一[1)]
1）東京医科大学　消化器小児外科学分野、2）東京医科大学　分子病理学分野

共催：株式会社新日本科学　12：05 ～ 12：55
ランチョンセミナー　司会：株式会社新日本科学

LS-1 **バイオマーカー、創薬ターゲットとしてのミトコンドリア**

永瀬浩喜

順天堂大学大学院医学研究科難治性疾患診断・治療学　難病の診断と治療研究センター

共催：ミヤリサン製薬株式会社　17：15 ～ 17：55
イブニングセミナー　司会：ミヤリサン製薬株式会社

ES-1 **肝細胞癌におけるこれからの集学的治療戦略**

吉住朋晴

九州大学大学院　消化器・総合外科